



# HANWA

# PRESS RELEASE

## 阪和興業株式会社

〒104-8429 東京都中央区築地一丁目13番1号

2025年8月21日

阪和興業株式会社

### 使用済み真珠養殖カゴが新たな真珠養殖カゴへ

～循環型で持続可能なリサイクル実施により CO2 排出量を約 28%削減～

阪和興業株式会社ならびに当社グループ会社の西部サービス株式会社および有限会社アルファフォーム（以下、当社グループ）は、複数の企業・団体<sup>\*1</sup>の協力を得て、これまでリサイクルが困難であった使用済み真珠養殖カゴの循環型で持続可能なリサイクルスキームの構築・実施に成功し、環境負荷に関わるライフサイクルアセスメント（LCA）において CO2 削減に寄与する取組みであることが証明されました。

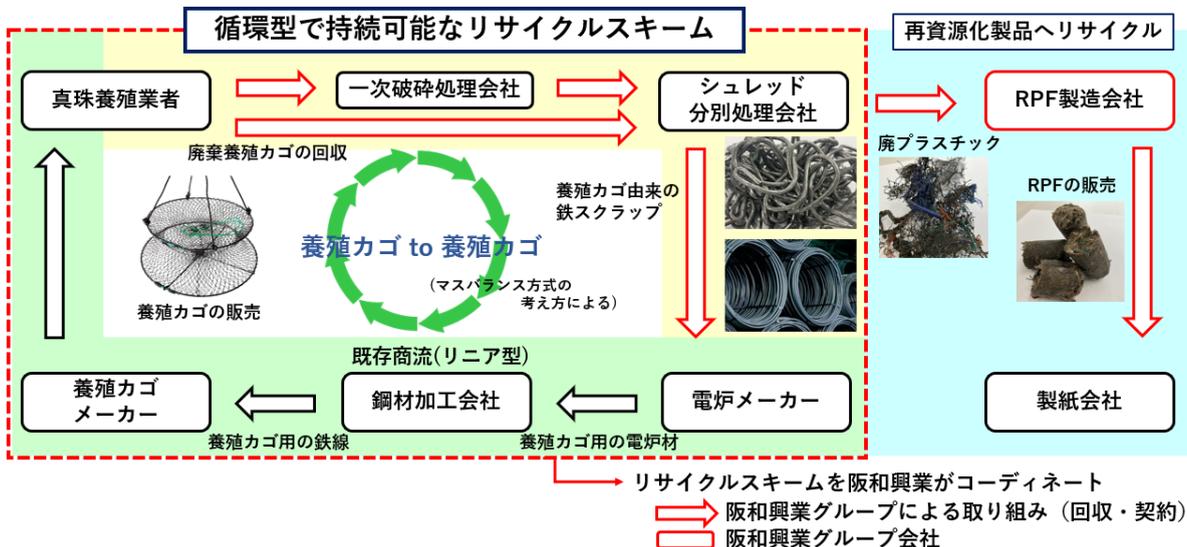
#### <今回の実施内容>

回収した真珠養殖カゴをシュレッド処理によりフレームの鉄スクラップ部分とプラスチック類に分別します。鉄スクラップは電炉メーカーで電炉鋼材の生産用に使用されます。電炉メーカーで製造された線材を鋼材加工会社で鉄線にし、養殖カゴメーカーで新たな製品としてよみがえり、廃カゴ拠出元の真珠養殖業者によって使用されます。

プラスチック類で構成される網部分は、RPF（Refuse derived Paper and plastics densified Fuel）<sup>\*2</sup>にして再資源化製品へリサイクルします。このリサイクルスキームを構築したことで、これまで埋め立て、あるいは放置されていた廃漁具をリサイクル可能な資源として有効利用することが可能になります。

今回のリサイクル実績は、LCA において CO2 排出量が 27.8%相当削減されると認定され環境負荷軽減への貢献も見込まれます。

<リサイクルスキーム図>



<背景>

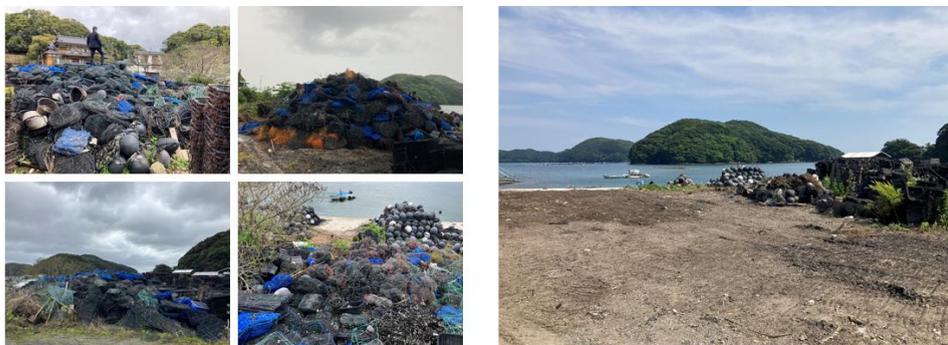
2014年の世界のプラスチック生産重量は3.1億ト、海洋プラスチックごみと魚の比率は1:5であり、2050年には世界で11.2億トのプラスチックが生産され、海洋プラスチックごみの重量が魚の重量を超えると試算されています。<sup>※3</sup> 太平洋ごみベルトに浮遊する海洋プラスチックごみのうち漁網・ロープなど漁業由来が46%を占めているという調査結果もあり、海の生物を殺傷する凶器になるなど大きな問題となっています。

こうした状況をふまえ、当社グループでは、以前から使用済み漁具のリサイクルに取り組んでおりましたが、このたび複数の企業・団体の協力を得て、リサイクルが困難であった使用済みの真珠養殖カゴを新たな養殖カゴとして再度製品化する、資源循環型のリサイクルスキームの構築とリサイクルに成功したものです。

本取り組みは世界の真珠養殖においても珍しく、歴史ある日本の真珠産業が世界に先駆けて真珠養殖カゴのリサイクルに取り組むことで、世界の真珠養殖におけるリサイクルの推進となることが期待されます。

当社グループでは、今後も持続可能な循環型社会の形成に向け、関係各所と協力し、限りある資源の有効活用に貢献してまいります。

<リサイクル実施によって改善された景観>



リサイクル実施前

リサイクル実施後

※1(企業・団体一覧)

大阪鋼業株式会社、覚田真珠株式会社、金子真珠養殖株式会社、加山興業株式会社、佐々木商工株式会社、有限会社佐世保真珠、サニーメタル株式会社、国立大学法人東京大学、株式会社中山製鋼所、日本真珠輸出組合、有限会社溝口真珠、他(五十音順)

※2 石炭の代替となる固形燃料。CO2 排出量は石炭の約3分の2に抑えられます。

※3 World Economic Forum “The New Plastic Economy, 2016”を引用

以 上

<本件に関する問い合わせ先>

阪和興業株式会社

東京本社 食品・エネルギー・生活資材新規事業推進室 TEL:03-3544-2315